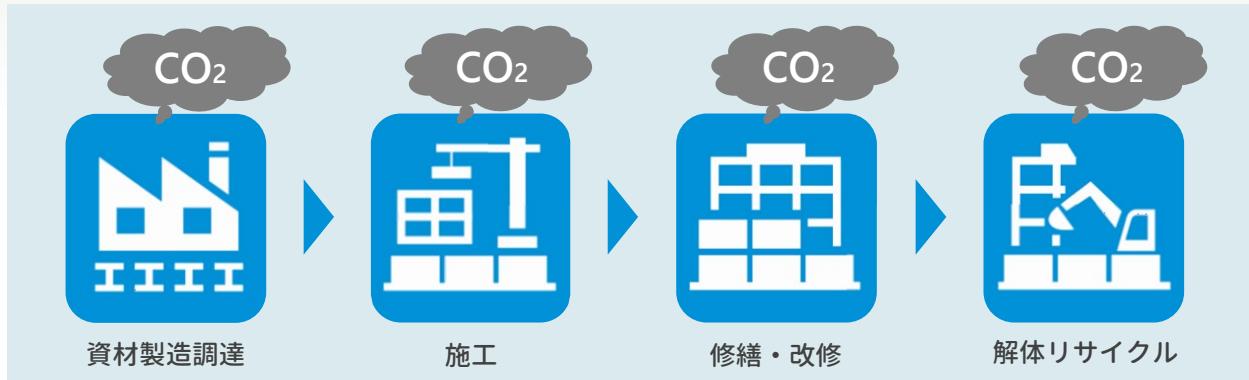


# 見えないものを可視化する 安藤ハザマの環境評価

## カーボンフットプリントを活用した建築物のCO<sub>2</sub>排出量評価

### カーボンフットプリント(CFP)算定の概要

安藤ハザマは、建築物を一製品と捉え、**カーボンフットプリント (CFP)** を活用してCO<sub>2</sub>を算定・評価・情報開示できる仕組みを確立しました。



#### CO<sub>2</sub>評価の現状

- ◆業界統一的な算定ルールがない
- ◆設計者にLCAの知見がない
- ◆どこまで細かく試算するか等  
依頼者、実施者の考え方による

物件毎の排出量提示が難しい

#### 安藤ハザマのCFP評価

- ◆ISOに準拠した統一的な試算
- ◆第三者認証型環境ラベル付与による信頼性・透明性確保

物件毎の排出量提示の仕組みを確立



SuMPO環境ラベルプログラム  
Japan EPD Program by SuMPO

CFPはISO（国際標準化機構）に準拠した環境ラベルの一つです。日本国内では、一般社団法人サステナブル経営推進機構の「SuMPO環境ラベルプログラム」によって運営されています。

### 評価事例

当社設計・施工案件 「鷺沼独身寮」



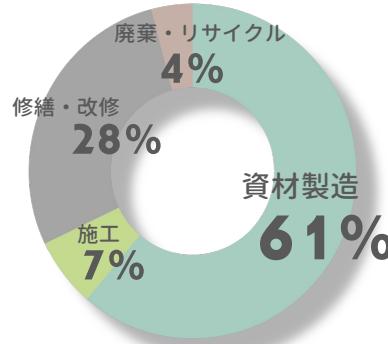
※設計情報に基づき、建屋製造、修繕・改修、  
廃棄・リサイクルを対象として算定しています。  
家具や設備機器、外構および建設物運用段階の  
評価は含まれていません。

CO<sub>2</sub>排出量が多い項目を把握し、  
注力すべき項目を見る化します。

床面積1m<sup>2</sup>・耐用年数65年あたり



CO<sub>2</sub>の「見える化」  
カーボンフットプリント  
登録番号：JR-AA-21001C  
<http://ecoleaf-label.jp/>



お問い合わせ

技術研究所 脱炭素技術開発部

☎ 029-858-8814

安藤ハザマ